

つるおかコンポスト 利用促進検討委員会



日時：令和8年7月24日

13:30～

場所：つるおかエコファイア
3階研修室

4-（1）新汚泥資源化（コンポスト）施設整備の進捗状況について

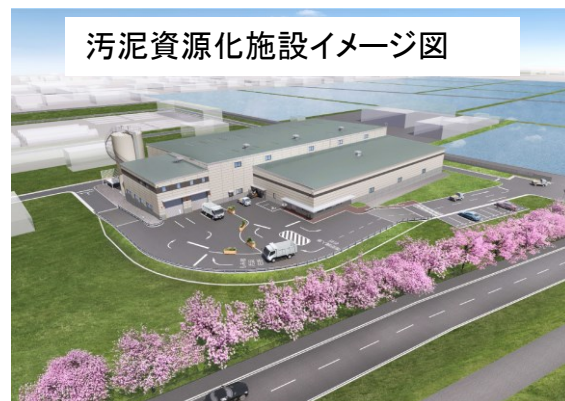
新汚泥資源化（コンポスト）施設整備の進捗状況

【進捗状況】

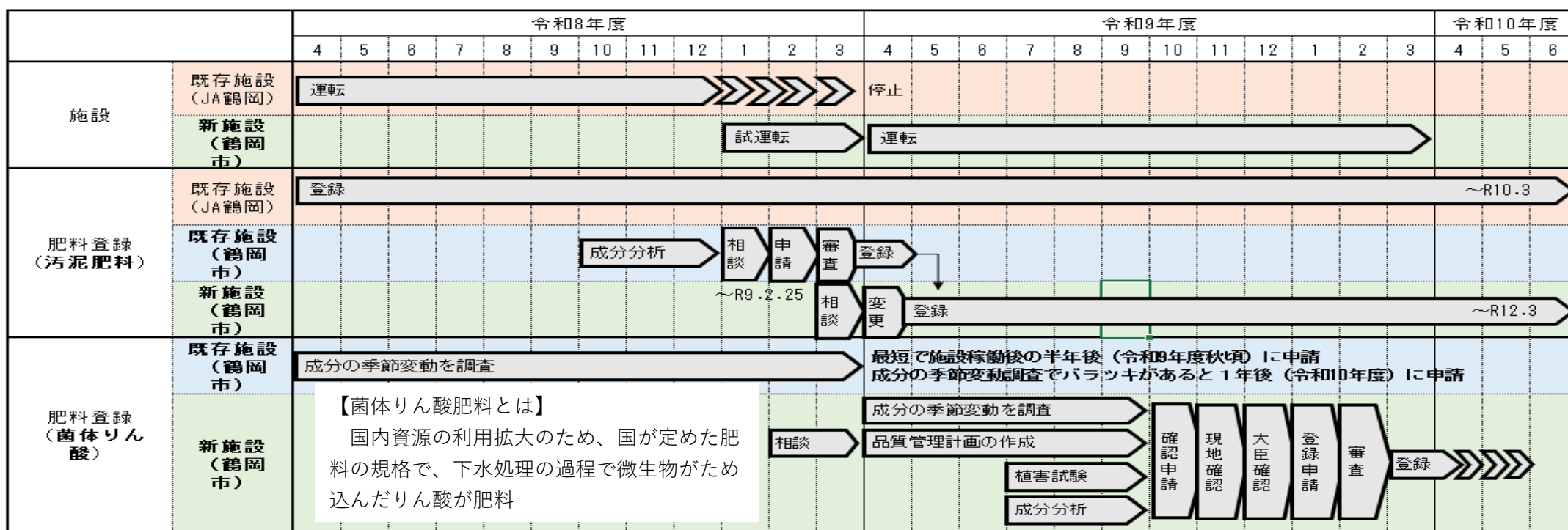
- ・ 建物は終了
- ・ 現在 機械の搬入・据付

【令和8年度の予定】

- ・ 土木・建設工事
- ・ 機械・電気設備機器一式
- ・ 試運転



4-（2）肥料登録の変更・菌体りん酸肥料登録のスケジュールについて



4- (3) コンポストペレット化に関する事業可能性調査・検討業務について

ペレット化製品の販売価格の検討、概算事業費見込みと事業スキームの検討 【R7終了】

- ・委託業者が農家や市農政課等にヒアリングやアンケート調査を実施

○ヒアリング結果（一部抜粋）

（コンポスト及びペレットの位置付け・価格設定について）

- ・土壌改良材として使用する場合、ペレット化しても使用しないのではないかな。
- ・鶏糞堆肥を使用している場合、価格面等のメリットがなければコンポストペレットに変えることはしないのではないかな。
- ・土壌有機物として大量に使用するのが堆肥やコンポストであるため、ペレットよりもコンポストを求める農家もある。
- ・土壌改良材としての使用を前提とした場合、畜産堆肥と比較して価格面で有利であること。（畜産堆肥は採算性を求めている）
- ・価格は利益をどう考えるかによって異なる。（利益が必要なのか、利用してもらうことが目的で利益度外視なのか）
- ・配送を含めたコンポスト製品・サービスの販売戦略が必要。
- ・鶏糞堆肥と同程度あるいはそれよりも安ければ使いやすい。

（コンポスト及びペレットの効果）

- ・継続的な使用により生育面への効果や化学肥料を削減できるなどのコストカットの効果が得られた。
- ・畜産堆肥と比較し、軽くて撒きやすく作業面で優れている点、臭気が少ない点で有利。
- ・ペレットの場合、ブロードキャスターで散布できるためペレット化のニーズはある。風で飛ばされない。

（コンポストの課題）

- ・市内には重機を有する農家は少ないので、様々な利用ケースを想定し、販売方法を検討する。
- ・自車で運搬する必要があり、近くのカントリーエレベーターなど配送してもらえれば嬉しい。
- ・JAでは稲作においてコンポストの使用を推奨していない。

（ペレットの課題）

- ・小規模農家ではフレコンバッグからブロードキャスターへの積込みに苦労しており、袋詰めでの販売も必要。
- ・ペレットであってもフレコンでの提供が望ましいが、ペレット化することで使用量が大幅に増加するかは分からない。

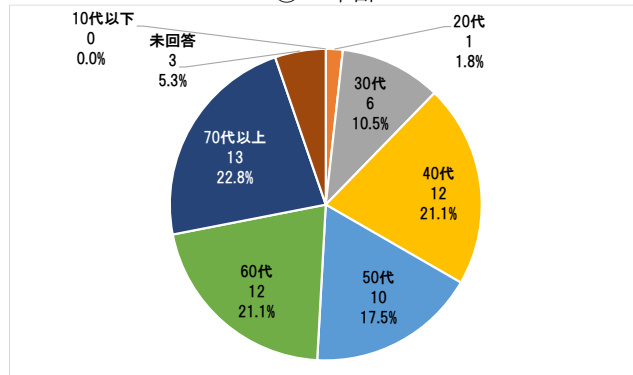
（その他意見）

- ・コンポストの研究成果を用いたPR資料を作成し、農家に使い方を示すことでコンポストの普及拡大を図ることができる。
- ・下水汚泥に対してネガティブなイメージを持っている農家は少なくない。袋のデザインや安全性に対するPR・イメージ向上の取組も必要。

4- (3) コンポストペレット化に関する事業可能性調査・検討業務について

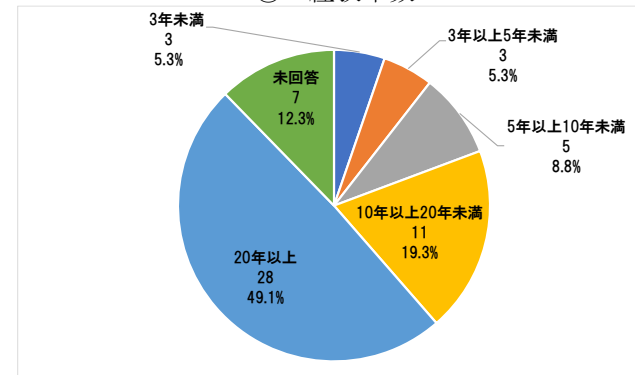
○アンケート結果（一部抜粋） 対象件数：516件 回答件数：57件

① 年齢



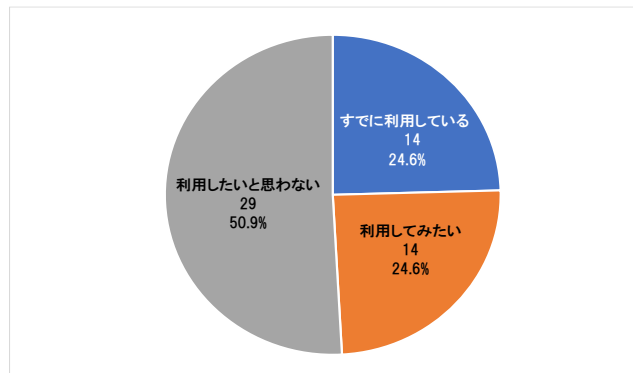
- 年齢については、40代・50代・60代・70代以上が概ね同程度（20%前後）であった。

② 経験年数



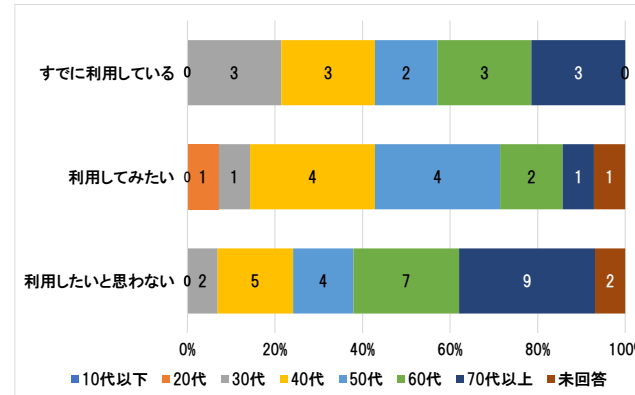
- 経験年数については、20年以上が約半数を占めていた。

③ 鶴岡コンポストの利用状況



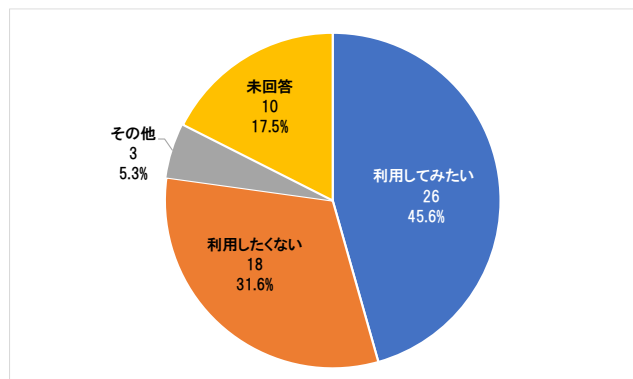
- 鶴岡コンポストの利用状況については、「利用したいと思わない」と回答した農家が約半数を占めており、「すでに利用している」「利用してみたい」と回答した農家が25%程度ずつ占めていた。

④ 鶴岡コンポストの利用状況の内訳（年代別）



- 年代別に整理すると、「使用したいと思わない」と回答した農家は60代・70代に多い傾向が見られた。

⑤ ペレットの利用希望



- 「利用してみたい」という回答が約半数を占めていた。一方で、30%程度が「利用したくない」と回答していた。

⑥ 15kg入のペレット製品(袋)を作った場合、利用してみたいくなる価格(税抜)、利用したい数量(自由記載)

- ・ 200円、2,000kg ・ 200円、10,800kg ・ 350円、20袋 ・ 400円、10kg
- ・ 450円、15kg ・ 500円、10kg ・ 1,500円、1,000袋
- ・ 鶏糞同等の価格帯
- ・ 一袋300円、10aに今の鶴岡コンポスト350kg分の成分の量
- ・ 現状と同じ袋サイズやバラで、プラス100円程度
- ・ 価格は据え置き、120袋
- ・ ペレットのコストは考えずに15kgあたり400円から500円程度だと使いやすい

4-（4）今年度の取組みについて

【今年度の取組み・予定について】

- 令和8年 4月 つるおかコンポストの無償提供（各小中学校・自治会 4月～8月）
6月 作業部会（～7月）
7月 第4回つるおかコンポスト利用促進検討委員会
9月 つるおかコンポストの無償提供（各小中学校・自治会 9月～10月）
9月 環境フェア（パネル展示・動画上映）
10月 大産業まつり（パネル展示・動画上映）
令和9年 1月 第5回つるおかコンポスト利用促進検討委員会（最終）
試運転（予定）
2月 市役所1階ロビー（パネル展示・動画上映）
4月 稼働開始（予定）

※随時ホームページの更新

※BISTRO下水道事業において一般市民や農家を対象とした発表会（時期や内容について調整中）



メモ

5- (1) つるおかコンポストの販売価格・販売方法の検討について

(1) 現状・課題

- ・コンポストの価格設定を鶏糞堆肥と同等の価格設定にしていたが、現在では鶏糞堆肥や鶏糞ペレットより価格が高い状況となっている。
- ・コンポストの価格はＪＡ鶴岡からの販売価格であり、10kgや18kg入りの袋の価格はホームセンターや小売店では右の価格よりさらに高額となっている。
- ・平成28年度以降、市ではＪＡ鶴岡にコンポストセンターを無償貸付し、管理運営等をＪＡ鶴岡に委託しており、長年、市では管理運営等には関わっていないため、知見やスキルがない。

(2) 今後の販売価格・販売方法について

(販売価格)

- ・新汚泥資源化施設では既存施設の約3倍のコンポストの生産が可能となることから、現在の鶏糞肥料や全国のコンポストの価格を参考に販売価格の見直しを行う。(安価に設定する。)

(販売方法)

- ・販売方法や現在の体制について、スムーズに移行できるようＪＡに聞き取りを行う。
- ・袋売りについては、市でホームセンターや小売店に搬送することが困難であることから、処理場包括事業者やＪＡを介して販売。バラ売りについては、自己取りを基本として販売することを検討する。
- ・現在のＪＡ鶴岡の取引業者と単価契約を締結して販売することを検討する。(新規については随時対応)

各堆肥との比較

項目		内容量	価格(税抜)	重量単価
		kg	円	円/kg
鶴岡コンポスト	10kg	10	300	30
	18kg	18	420	23
	バラ夏	350	1500	4
	バラ冬	350	1200	3
畜産堆肥	9kg	9	324	36
	バラ(m³)	500	2484	5
牛豚糞堆肥	30L	15	325	22
	バラ(m³)	500	2050	4
鶏糞堆肥	30L	15	235	16
	バラ	500	3080	6
	ペレット	15	300	20
	細粒	15	600	40

(コンポストペレット化に関する事業可能性調査・検討業務より抜粋)

新施設販売価格(店頭小売価格)(参考)

項目		内容量	価格(税抜)	重量単価
		kg	円	円/kg
鶴岡コンポスト	10kg	10	200	20.0
	18kg	18	240	13.3
	バラ	350	600	1.7

下水汚泥資源由来の肥料を入手可能な下水処理場一覧

都道府県	事業者名	下水処理場名	肥料種別	登録した公定規格	下水処理場での入手方法・値段等	配達の有無	配達料金等	年間の生産量
北海道	剣淵町	剣淵浄化センター	コンポスト（堆肥）	汚泥肥料	年2回（5月中旬・10月上旬）有料配布。 1袋20リットル200円 で販売（購入者が持参した袋により袋詰め） 軽トラ1台2,000円、 ショベルカーの1バケット3,000円	無		46 t / 年
北海道	遠別町	遠別浄化センター	コンポスト（堆肥）	汚泥肥料	下水処理場では入手不可。利用希望の方は問合せ先まで御連絡ください。	有	無償	250 t / 年
秋田県	秋田県	横手処理センター	コンポスト（堆肥）	汚泥肥料	無料サンプル 配布（1年間）	無	—	1,000t / 年
秋田県	秋田県	秋田臨海処理センター	コンポスト（堆肥）	汚泥肥料	販売価格： 15,000円/t	無	—	500 t / 年
山形県	山形市	前明石ケーキ処理場	コンポスト（堆肥）	汚泥肥料	前明石ケーキ処理場にて20kg袋またはフレコン（上限700kg/袋）販売	無	要相談	約1,200t/年
福島県	会津若松市	会津若松市下水浄化工場	コンポスト（堆肥）	汚泥肥料	無料 。無くなり次第終了	無		24 t / 年
福島県	棚倉町	棚倉町浄化センター	コンポスト（堆肥）	汚泥肥料	下水処理場では入手不可、配達のみ	無	1台当たり 12,000円～	775 t / 年
茨城県	茨城県	さしまアクアステーション	コンポスト（堆肥）	汚泥肥料	小口：無人販売（ 2円/kg ）※袋を持参 大口：フレコン袋（ 3,800円/900kg ） ※フレコン袋は要予約	無	—	約300t / 年
三重県	志摩市	坂崎浄化センター	コンポスト（堆肥）	汚泥肥料	無料 。配布対象者は市内在住者のみ 坂崎浄化センターで配布。10kg/袋	無	-	3 t / 年
佐賀県	佐賀市	佐賀市下水浄化センター	コンポスト（堆肥）	汚泥肥料	小口：無人販売（ 2円/kg ） 大口： フレコンパック（800円/350kg、1600円/800kg ※要予約）	無		1,300 t / 年
佐賀県	白石町	エコパーク住ノ江	コンポスト（堆肥）	汚泥肥料	ホイールローダーでトラックへの積込販売 バケット1杯あたり500円 （R7.4月～） 最大2杯（1杯あたり0.4㎡）まで	無		40～50 t / 年
鹿児島県	鹿児島市	下水汚泥堆肥化場	コンポスト（堆肥）	汚泥肥料	15kg袋入：150円(税抜) 20kg袋入：200円(税抜) 第1種(ふるい分けしたもの)1kg当たり： 1.5円(税抜) 第2種(ふるい分けしていないもの)1kg当たり： 1円(税抜)	無		8,311 t / 年 (令和6年度)
鹿児島県	鹿児島市	下水汚泥堆肥化場	コンポスト（堆肥）	菌体りん酸肥料	第1種(ふるい分けしたもの)1kg当たり： 1.5円(税抜) 第2種(ふるい分けしていないもの)1kg当たり： 1円(税抜)	無		235 t / 年 (令和6年度)

国交省HPより一部引用

全国的なコンポストの肥料価格・販売方法

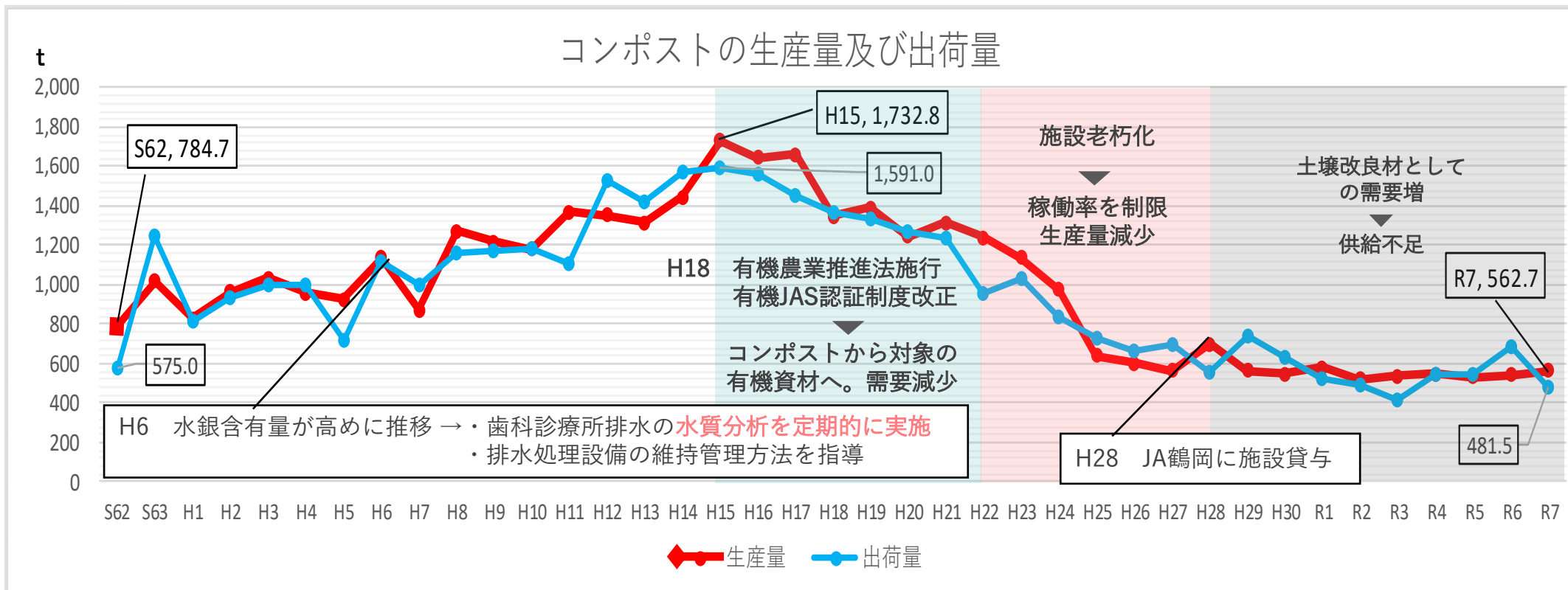
（販売価格）

- ・コンポストで比較すると、無料～15,000円/t（kgあたり15円）と様々な価格設定
小口：1袋あたり約10円/kg、大口：フレコン、バケットなど約1～2円/kg が平均的
全国的な販売価格と比較すると鶴岡市の販売価格は高い。1袋あたり23円・30円/kg バラ（フレコン）：3円・4円/kg

（販売方法）

- ・自車での引き取り、重機からの直接積み込み、袋の持込みが多い。店舗での販売や配達はほとんど行われていない

5- (2) つるおかコンポストの利用促進・販路拡大について



(1) 現状・課題

- ・平成28年度のコンポストセンターの無償貸付以降、市ではJA鶴岡に製造、販売等を委託しており、製造、販売等には関わっていない。
- ・JA鶴岡では令和9年度以降の新汚泥資源化施設の製造には関わらないことになったが、これまでどおり販売や販路拡大に協力してもらうことになっている。
- ・施設の老朽化により製造量を制限していたこともあり、主な販売先はJA鶴岡管内の農家、市内の量販店となっている。また、JA庄内たがわ管内では一部の農家は知っているものの、周知をしていないこともあり、つるおかコンポスト自体が知られていない。

(2) 今後の利用促進・販路拡大について

- ・現在よりも安価にすることで購入しやすくする。
- ・大規模農家や法人への周知、試験出荷や低価格での販売による利用拡大を図る。
- ・汚泥肥料の製造に鶴岡市が積極的に関わっていることや下水道資源を活用した地域内循環を図っていることなどの情報発信を行う。
- ・菌体りん酸肥料の登録を行い、下水汚泥のイメージ脱却を図る。
- ・JA庄内たがわ管内でのチラシの配布や広報誌での周知を図る。
- ・保育園や小学校、中学校、町内会等に無償提供の継続